

§6.4 複数の不等式で表される領域

複数の不等式に対して、各々の不等式が表す条件を“かつ”で結んだ条件を考えたとき、それらの不等式を連立するといいます。

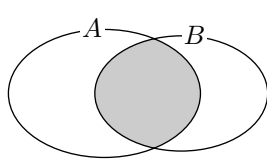
例 変数 x と y に関する不等式 $3x - y \leq 7$ と $x - 2y \geq -1$ との連立不等式を次のように書き表します：

$$\begin{cases} 3x - y \leq 7 \\ x - 2y \geq -1 \end{cases}$$

この連立不等式は x の値と y の値とに関する条件 “ $3x - y \leq 7$ かつ $x - 2y \geq -1$ ” を表します。 終

集合 A と集合 B との両方に属すものの全体を A と B との共通部分といい、 $A \cap B$ と書き表しました：

$$A \cap B = \{x \mid x \in A \text{ かつ } x \in B\}.$$



A と B との共通部分 $A \cap B$ の“感じ”を図で表すと右図の網掛けの部分のようになります。

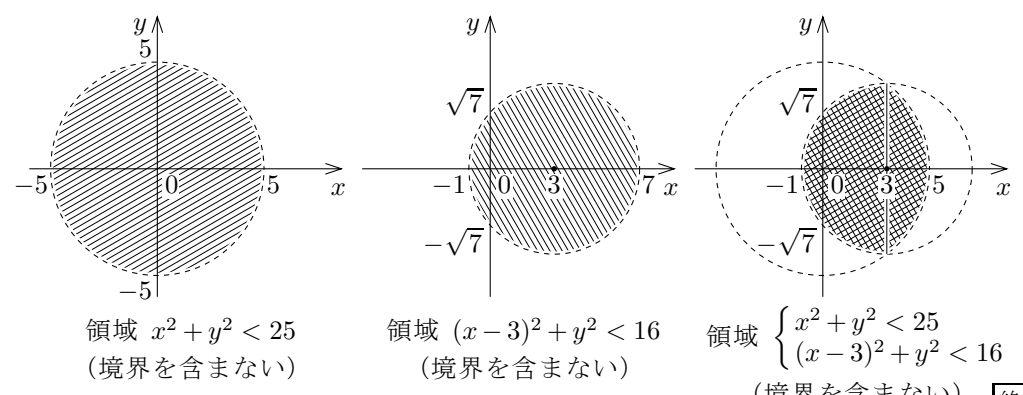
例解 xy 座標平面において不等式 $x^2 + y^2 < 25$ と $(x - 3)^2 + y^2 < 16$ の連立不等式が表す領域を考えます。不等式 $x^2 + y^2 < 25$ が表す領域を A とおき、不等式 $(x - 3)^2 + y^2 < 16$ が表す領域を B とおきます：

$$A = \{(x, y) \in \mathbf{R}^2 \mid x^2 + y^2 < 25\}, \quad B = \{(x, y) \in \mathbf{R}^2 \mid (x - 3)^2 + y^2 < 16\}.$$

このとき、 A と B との共通集合 $A \cap B$ は、

$$A \cap B = \{(x, y) \in \mathbf{R}^2 \mid x^2 + y^2 < 25 \text{ かつ } (x - 3)^2 + y^2 < 16\}.$$

これより、不等式 $x^2 + y^2 < 25$ と $(x - 3)^2 + y^2 < 16$ の連立で表される領域は、不等式 $x^2 + y^2 < 25$ が表す領域 A と不等式 $(x - 3)^2 + y^2 < 16$ が表す領域 B との共通部分 $A \cap B$ 、つまり領域 A と B との両方に属す点の全体ですから、次のようになります。



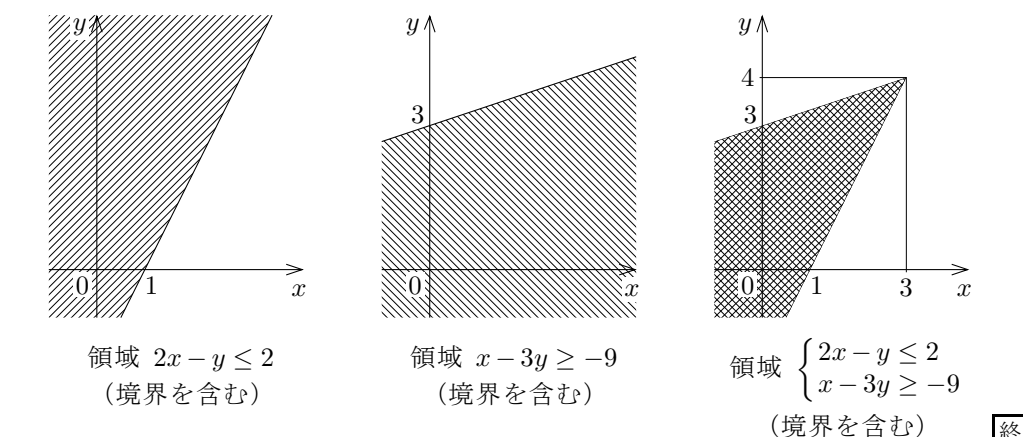
例解 xy 座標平面において不等式 $2x - y \leq 2$ と $x - 3y \geq -9$ との連立不等式が表す領域を図示します。不等式 $2x - y \leq 2$ が表す領域を A とおき、不等式 $x - 3y \geq -9$ が表す領域を B とおきます：

$$A = \{(x, y) \in \mathbf{R}^2 \mid 2x - y \leq 2\}, \quad B = \{(x, y) \in \mathbf{R}^2 \mid x - 3y \geq -9\}.$$

このとき、 A と B との共通集合 $A \cap B$ は、

$$A \cap B = \{(x, y) \in \mathbf{R}^2 \mid 2x - y \leq 2 \text{ かつ } x - 3y \geq -9\}.$$

これより、不等式 $2x - y \leq 2$ と $x - 3y \geq -9$ との連立不等式が表す領域は、不等式 $2x - y \leq 2$ つまり $y \geq 2x - 2$ が表す領域 A と不等式 $x - 3y \geq -9$ つまり $y \leq \frac{x}{3} + 3$ が表す領域 B と共通部分 $A \cap B$ 、つまり A と B との両方に属す点の全体ですから、次のようになります。



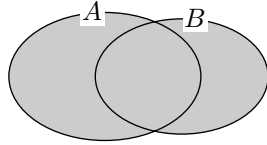
問題 6.4.1 xy 座標平面において不等式 $3x + y < 15$ と $x - 2y > -2$ との連立不等式が表す領域を図示しなさい。

問題 6.4.2 xy 座標平面において連立不等式 $x^2 - 6x - 7 \leq 4y \leq x + 1$ が表す領域を図示しなさい。

問題 6.4.3 xy 座標平面において不等式 $(x + 2)^2 + (y - 1)^2 \geq 9$ と $x^2 + y^2 \leq 36$ との連立不等式が表す領域を図示しなさい。

集合 A か集合 B かの少なくともどちらかに属す対象の全体を A と B との**合併集合**あるいは**和集合**といい、 $A \cup B$ と書き表しました：

$$A \cup B = \{x \mid x \in A \text{ または } x \in B\}.$$



集合 A と集合 B との合併集合 $A \cup B$ の“感じ”を図で表すと右上図の網掛けの部分のようになります。

次の定理が成り立ちます：各実数 a, b について、

$$ab > 0 \iff “a > 0 \text{ かつ } b > 0” \text{ または } “a < 0 \text{ かつ } b < 0” ,$$

$$ab \geq 0 \iff “a \geq 0 \text{ かつ } b \geq 0” \text{ または } “a \leq 0 \text{ かつ } b \leq 0” ,$$

$$ab < 0 \iff “a > 0 \text{ かつ } b < 0” \text{ または } “a < 0 \text{ かつ } b > 0” ,$$

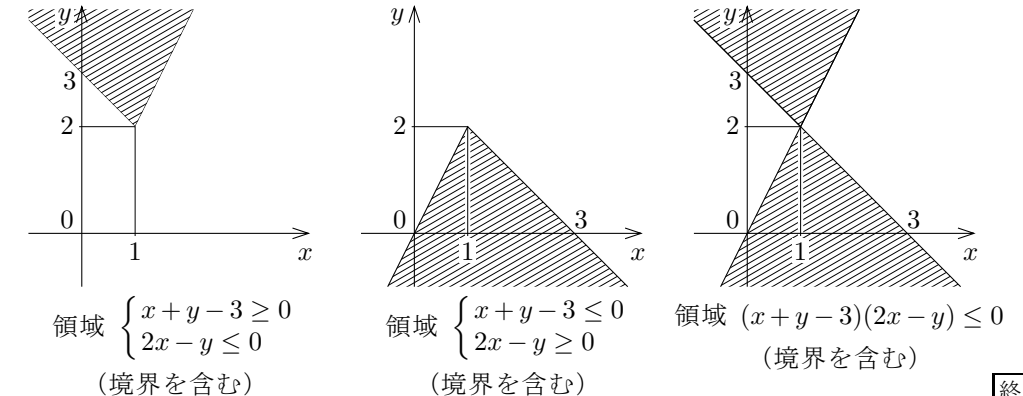
$$ab \leq 0 \iff “a \geq 0 \text{ かつ } b \leq 0” \text{ または } “a \leq 0 \text{ かつ } b \geq 0” .$$

例解 xy 座標平面において不等式 $(x + y - 3)(2x - y) \leq 0$ が表す領域を考える。各実数 x, y について、

$$(x + y - 3)(2x - y) \leq 0$$

$$\iff “x + y - 3 \geq 0 \text{ かつ } 2x - y \leq 0” \text{ または } “x + y - 3 \leq 0 \text{ かつ } 2x - y \geq 0” .$$

従って、不等式 $(x + y - 3)(2x - y) \leq 0$ が表す領域は、不等式 $x + y - 3 \geq 0$ と $2x - y \leq 0$ との連立が表す領域 A と、不等式 $x + y - 3 \leq 0$ と $2x - y \geq 0$ との連立が表す領域 B との合併集合 $A \cup B$ 、つまり領域 A と B との少なくとも一方に属す点の全体ですから、次のようになります。



問題 6.4.4 xy 座標平面において不等式 $(2x + 3y - 18)(2x - y - 2) \geq 0$ が表す領域を図示しなさい。